

物価高なのに国保税の増税

背景に自民・公明政権の悪政

福山市は、今年度の国民健康保険税を一人平均で1565円増税します。

低所得者に負担増

今回の増税は、所得の少ない人や、子どもなど家族が多い人ほど負担が重くなる仕組みです。

国保税は、所得に一定の税率をかける「所得割」と、世帯の人数に一定の金額をかける「均等割」などが組み合わされています。

福山市は、基礎課税の「医療分」で、所得割の税率を約1%下げる一方、均等割を1200円上げます。

そのため、給与年収が885万6675円の2人世帯の場合は6万8200円の減税となる一方、年収99万円の世帯では1100円の増税となります。

日本共産党市議団は、「均等割の引き上げは低所得世帯に重い負担となる。

年金の削減や物価高で生活が苦しいときに冷たい改定だ」と批判し、均等割の引き下げを求めました。

市長は「福山市では、これまで低所得者の負担を軽減するため、所得割額を高く、均等割額を低く設定してきた。しかし、2024年度の保険税率の準統一化に向けて、県が示す均等割額に近づける必要があるため、急激な負担増とならないよう段階的に引き上げる」と答えました。

つまり、市としては低所得者の負担にならないよう均等割を低くしてきたが、県にあわせるとそれができず、今後さらに負担は重くなるということです。

政治を変えよう

従来、国保は各市町村が運営していました。

ところが自民・公明政権は、2018年度から国保の財政運営を都道府県が一括する「都道府県単位化」を強行し、保険料(料)の統一化や市町村独自の公費繰り入れ解消を行うよう圧力をかけています。広島県や福山市のように、国の言いなりの自治体では、住民の負担が増すばかりです。

福山市の国保会計は毎年黒字で、基金(貯金)も今年度末で19億円に上る見込みです。豊かな財政を市民の負担軽減に使わせるため、市と県、そしてお母もの国の政治を変える必要があります。

消費税5%減税!

インボイス中止!

あらゆる物価が上がり、市民のくらしや営業を直撃しています。

もっとも有効な対策は、消費税の減税です。

日本共産党市議団は3月議会に続き、市長に「消費税5%への減税を国に求めよ」とただしましたが、「考えていない」と相変わらずの冷たい答弁でした。岸田首相も「減税は考えてない」とくり返します。

国民の痛みや苦しみが分からない政治は、変えなければなりません。

消費税は法人税減税の穴埋め
社会保障のためじゃない!
1989年の消費税創設から
消費税収は累計476兆円
法人3税の減収324兆円

自民・公明政権は、消費税のインボイス制度を強行しようとしています。

売上1千万円以下の免税業者にとって、課税業者となつて消費税を払うか、取引から排除されるか、死活問題となります。

仮に、その消費税分が価格に転嫁されれば、さらなる物価上昇と消費者負担を招きます。

日本共産党市議団は「約9割が免税業者といわれる農家では、売上900万円で利益180万円の場合、13万円が消費税の納税額になる」「シルバー人材センターで働く高齢者も免税業者」と、市内経済に幅広い影響が出ることを指摘し、インボイス導入の見直しを国に求めるよう要望しました。

期日前投票が始まっています

市役所1階市民ホール	6月23日(木)~7月9日(土)	8時30分~20時
松永、北部、東部、神辺、鞆、内海、沼隈、芦田、加茂、新市支所	7月4日(月)~7月9日(土)	
山野ふれあいプラザ	7月6日(水)~7月7日(木)	10時~20時
フジグラン神辺1階ふれあい通り	7月4日(月)~7月9日(土)	
福山市立大学1階学生食堂	7月6日(水)	10時~17時
福山市民病院西館1階ホールコア	7月1日(金)	10時~18時

7月10日投票

2022参院選

投票はがきがなくても、本人確認できれば投票できます。

日本共産党 議員団ニュース
発行 日本共産党福山市議会議員団 福山市津之郷町津之郷 970-1





高木たけし 河村ひろ子 みよし剛史
①084-972-6830 ①084-965-6049 ①090-1182-3973